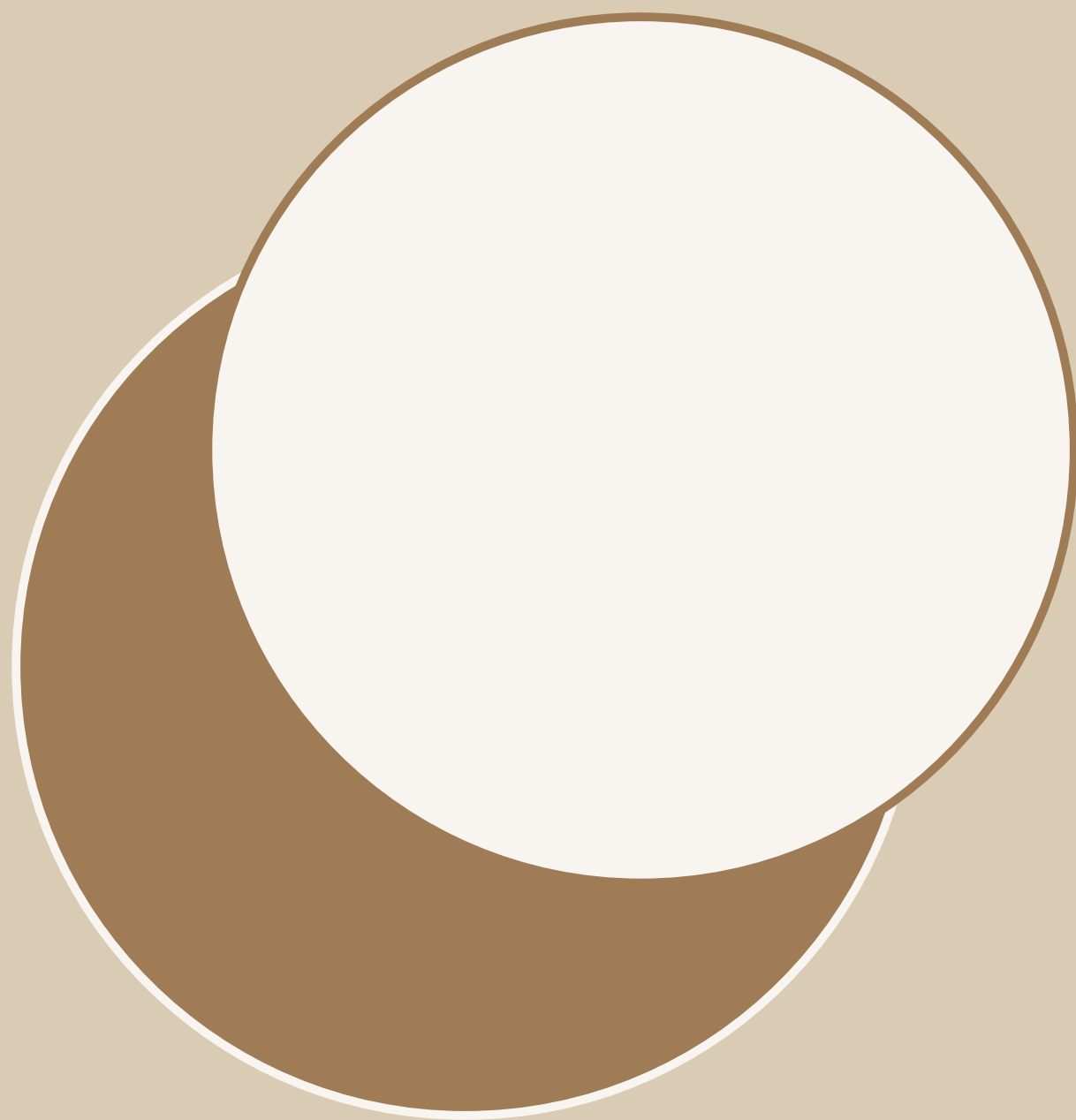


介護福祉学校へようこそ

# 発達障害と社会モデルを考える授業

2026年2月13日





# 対話と創造で学ぼう

## 今日のルール

- ・ 個人を特定するような発言はしない
  - ・ 体験談を無理に話さない
  - ・ 診断名を軽く扱わない
  - ・ 正解探しをしなくていい

こんな状況、どう思いますか？

- テストの点数はいつも悪い
- 字が汚い、よく間違えている
- 遅刻が多い、居眠りも多い
- よく、道ばたの溝に落ちる
- 人の名前をよく間違える
- 服を裏表に着てくることがある
- じーっと顔を見ているので、嫌がられることがある

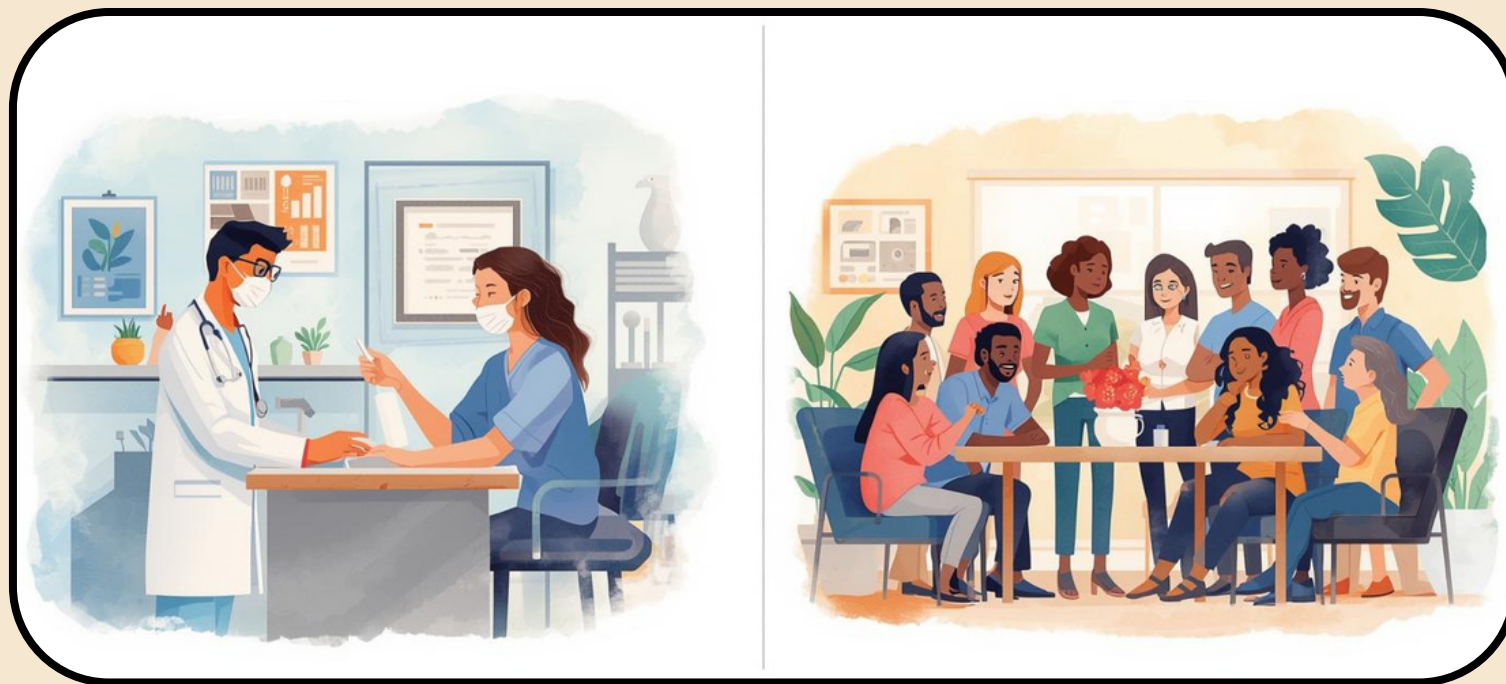


こんな状況、どう思いますか？

- テストの点数はいつも悪い
- 字が汚い、よく間違えている
- 遅刻が多い、居眠りも多い
- よく、道ばたの溝に落ちる
- 人の名前をよく間違える
- 服を裏表に着てくることがある
- じーっと顔を見ているので、嫌がられることがある

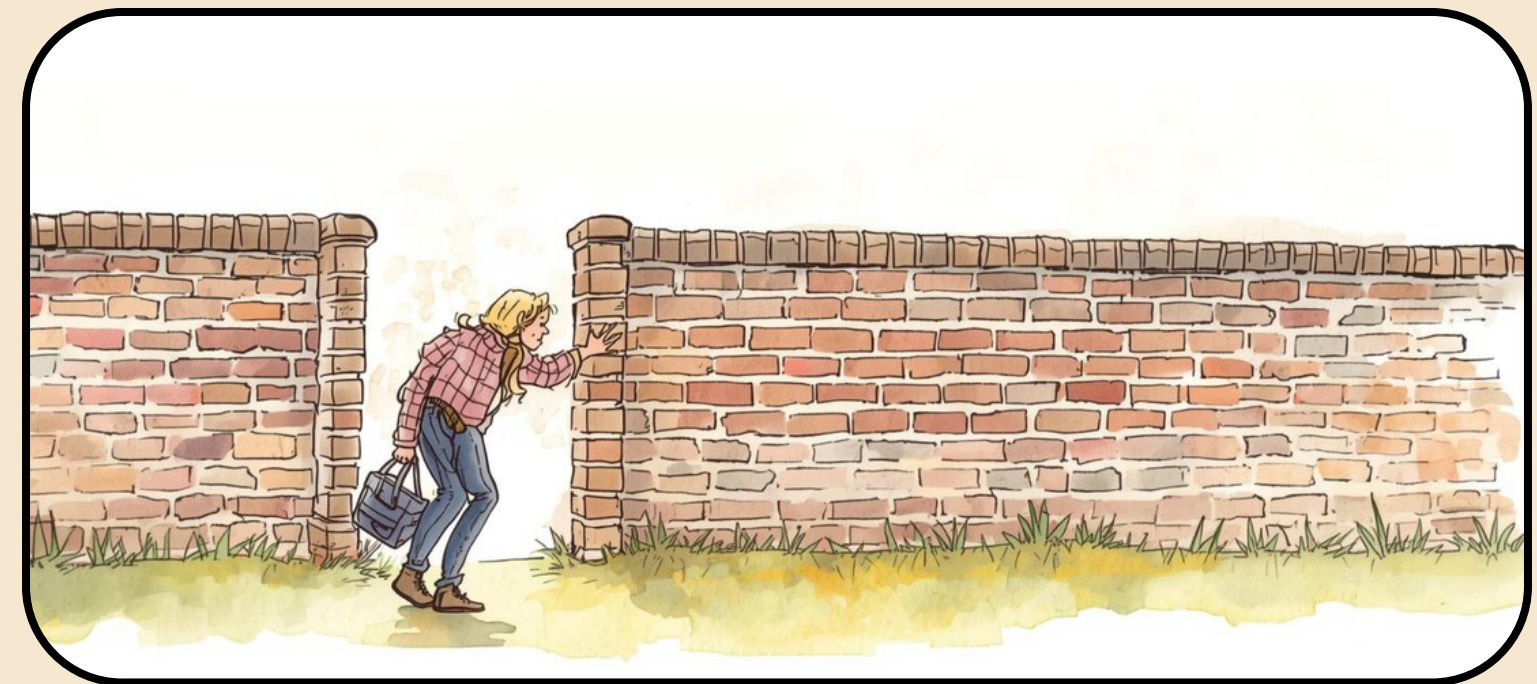
見えないから

# 医療モデルと社会モデルの違い



## 医療モデル

障害は個人の問題と考えられる



## 社会モデル

障害は社会が作るバリアから生じる

## 社会モデル の重要性

障害は**個人の問題**ではなく、社会のあり方の問題です。  
社会全体で障壁をなくすことが、すべての人にとって暮らしやすい環境を創出します。

こんな状況、どう思いますか？

21歳の大学4年生。現在、就職活動中です。

これまで大学生活でも困りごとがあり、現在は特に就職活動、なかでも面接場面に強い負担を感じています。

#### 【大学生活での困りごと】

- ・グループワークで話すタイミングが分からない
- ・教員の「適当にまとめておいて」「いい感じにやっておいて」が理解しづらい
- ・教室のざわざわした音で集中が切れやすい
- ・レポート提出期限が複数重なると混乱する
- ・周囲から「真面目すぎる」「空気が読めない」と言われた経験がある

#### 【就職活動・面接での困りごと】

- ・想定外の質問をされると頭が真っ白になる
- ・「自己PR」「強みと弱み」がうまく言語化できない
- ・面接官の表情の意味を考えすぎてしまう
- ・集団面接で他の人と比較して強く落ち込む
- ・面接後に「あの答えは変だったかも」と何日も考え続けてしまう

# 生成AIの活用

AIを「話し相手」として利用することで、想像力を働かせることが可能です。

AIを通して、相手がどんなことに困っているのか、そしてどんな環境調整が可能か考えてみましょう

# AIに聞いてみる質問

①大学生活で困っていることや違和感を感じることを、具体例を挙げて3つ話してください。

↓

みんなは、それを聞いて解決策を考えましょう。

AIに解決策を提案してみてください。そうしたらどんな反応があるか、確かめてみましょう。

ただし、その解決策は実現可能かどうかどうかも、相談してみましょう

②就職試験で困っていることを、具体例を挙げて3つ話してください。

↓

みんなは、それを聞いて解決策を考えましょう。

# みんなでやってみよう！

## AIとの対話ワークショップ

グループに分かれてAIに質問し、出た答えを共有しながら話し合います。**想像力を働かせて**AIの「気持ち」を考えてみましょう。



## 今日のまとめ

### 発達障害

発達障害は、周りからは見えにくい、さらに個人差が大きい。

障害の程度と困難さは比例しない。

環境が少し変わるだけで、本人の困りごとは少なくなるかもしれない。

あなたは、どうかかわりたいですか？

## 未来への学 び

日常の中での小さな気づきを大切にしましょう。

周りの人々の違いを尊重することは、私たちの理解を深めます。

対話や想像力を駆使して、多様な視点を持つことの重要性を学びましょう。これにより、私たちは共に成長し、支え合う社会を築くことができます。

**ご参加ありがとうございました！**